

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称 : オールドウッドワックス
色名 : ラスティックパイン, ジャコビーン, チーク, チューダーオーク, ウォルナット,
ホワイト, ベージュグレー, アンティークグレー, チャコールグレー, スモークグレー
会社名 : ターナー色彩株式会社
住所 : 大阪市淀川区三津屋北2-15-7
担当部署 : 研究開発室
電話番号 : 06-6308-1216
緊急連絡先 : 06-6308-1216
FAX番号 : 06-6305-3018
メールアドレス : kenkyuu@turner.co.jp
作成、改訂 : 平成29年12月26日
整理番号 : 1386-01

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類対象外、分類できない、区分外となるものは危険有害性に記載していません。

物理化学的危険性

引火性液体 区分3

健康有害性

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻酔作用)

水生環境有害性(慢性) 区分4

絵表示またはシンボル



注意喚起語: 警告

危険有害性情報: 引火性液体及び蒸気

眠気又はめまいのおそれ

長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ

注意書き:

《安全対策》

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地すること/アースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/...機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

環境への放出を避けること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

《応急措置》

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合: 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

無理に吐かせないこと。

火災の場合: 消火するために炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、その他消火剤を使用すること。

《保管(貯蔵)》

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

施錠して保管す その後も洗浄を続けること。

《廃棄》

内容物/容器を法令に従って適切に廃棄すること。

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分及び含有量：

	CAS No.	(%)	労働安全衛生法 名称等を通知すべき 危険物及び有害物 (57-2)政令番号
カーボンブラック	1333-86-4	0 - 1	130
酸化鉄	1309-37-1	0 - 2	192
C.I.ピグメントイエロー42	51274-00-1	0 - 3	192
アンバー	12713-03-0	0 - 10	192
酸化チタン	13463-67-7	0 - 10	191
テレピン油	8006-64-2	0 - 0.3	377
鉱油	非公開	0 - 0.2	168

※16項に色別の含有量を記載

労働安全衛生法：通知対象物質(カーボンブラック・酸化鉄・酸化チタン・テレピン油・鉱油)

PRTR法：該当なし

毒劇法：該当なし

4.応急処置

- 吸入した場合：蒸気・ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合：付着物を布にて素早く拭き取る。
汚染された衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
- 目に入った場合：直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
まぶたの裏まで完全に洗うこと。
出来るだけ速く医師の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5.火災時の措置

- 消火を行う者の保護：適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
- 消火方法：可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。
消火作業は、風上から行う。
- 使用可能消火剤：炭酸ガス、泡、粉末
- 使ってはならない消火剤：水(棒状水・高圧水)

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

- 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
付近の着火源・高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

環境に対する注意事項：河川への排出等により、環境への影響を起さないように注意する。

封じ込めおよび浄化の方法、機材：

- 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。
衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱上の注意： 換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。
周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
工具は火花防止型の物を使用する
スプレーダストや製品が付着した布、紙、ローラーなどが積み重なると自然発火する恐れがあるので、廃棄するまで水に漬けておくこと。
密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。
取扱後は手、顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
- 保管上の注意： 日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。

8. 暴露防止措置、及び保護措置

組成物質の有害性及び暴露濃度基準：

成分名	管理濃度	ACGIH(mg/m ³ , TLV)	出展
酸化鉄	-	5 (Fe, Fume)	ACGIH
カーボンブラック	-	3.5	
酸化チタン	-	10	
テレピン油	-	20ppm	
鉱油	-	5(鉱油ミストとして)	

- 設備対策： 取扱い設備は防爆型を使用する。
排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。
屋内は全体に換気する。換気の悪い場所及び蒸気の発生が多い場所には局所排気装置を設ける。
- 保護具： 呼吸系の保護： 有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。
目の保護： 取り扱いには保護メガネを着用すること。
手の保護： 有機溶剤、または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
皮膚の保護： 取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

その他の保護具： -

9. 物理的及び化学的性質

- 状態： 液体
色： 各色
臭い： 油脂臭
沸点： 156～213℃*
- 燃焼または爆発範囲の上限下限： データなし
蒸気密度： データなし
溶解度： 水に不溶
自然発火温度： データなし
引火点： 40℃*
発火点： データなし
n-オクタノール／水分配係数： 該当なし
分解温度： データなし
*印はイソパラフィンのMSDSより抜粋

10. 安定性及び反応性

- 安定性： 通常の使用では安定
避けるべき条件： 高温、直射日光の当たる場所での使用を禁止する。
周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
混触危険物質： 酸化性物質と反応する。
危険有害な分解生成物： CO、NO_x、ハロゲンガスなど有害ガスを発生する恐れがある。
その他危険情報： 特になし

11.有害性情報

■酸化鉄

皮膚腐食性／刺激性：区分2
 眼に対する重篤な損傷制／眼刺激性：区分1
 特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)：区分3(気道刺激性)
 特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)：区分1(呼吸器系)

■カーボンブラック

発がん性：区分2
 特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)：区分1(肺)

■酸化チタン

眼に対する重篤な損傷制／眼刺激性：区分2B
 発がん性：区分2

■テレピン油

引火性液体：区分3
 急性毒性(経口)：区分2
 急性毒性(吸入：蒸気)：区分3
 皮膚腐食性／刺激性：区分2
 眼に対する重篤な損傷制／眼刺激性：区分1
 皮膚感作性：区分1
 特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)：区分1(腎臓)、区分3(気道刺激性)
 特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)：区分1(腎臓、呼吸器)
 吸引性呼吸器有害性：区分1

成分名	急性毒性			発ガン性
	経口(mg/kg)	経皮(mg/kg)	吸入：蒸気(mg/L)	
酸化鉄	-	-	-	3
カーボンブラック	LD0:>8000(ラット)	-	-	2B
酸化チタン	LD50:>20000(ラット)	-	-	2B
テレピン油	LD50:>5760(ラット)	-	-	-

※酸化鉄・カーボンブラック・酸化チタンはそれぞれ粉体としての情報を記載している。
 ※有害性情報は化学物質固有のデータであり、含有濃度によって変化するものではありません。

12.環境影響情報

成分名	水性環境有害性(急性)	水性環境有害性(慢性)
酸化鉄	分類できない	分類できない
カーボンブラック	区分外	分類できない
酸化チタン	分類できない	分類できない
テレピン油	分類できない	分類できない

残留性・分解性／生物蓄積性／土壤中の移動度については、混合物としてのデータがない。

13.廃棄上の注意

廃塗料、容器等の廃棄物は、法律に従って処理を行うか、処理を委託すること。
 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
 廃棄物等を焼却処理する場合には、有害ガスを発生する為、洗浄設備の無い焼却炉を使用しないこと。
 排水処理、燃却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律
 及び関係する法律に従って処理を行うか、処理を委託すること。

14.輸送上の注意

共通：取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。
 容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み荷崩れ防止を確実にすること。
 容器は40℃以下に保つこと。
 陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に
 定められる運送方法に従うこと。
 海上輸送：船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送：航空法の定めるところに従うこと。
国連番号：1263 指針番号：128

15. 主な適用法令

労働安全衛生法：酸化鉄/カーボンブラック/酸化チタン/テレピン油/鉱油
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)：該当せず
毒物及び劇物取締法：該当せず
消防法：第4類 第2石油類
有機溶剤中毒予防規則：該当せず

16. その他

主な引用文献 日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」
溶剤ポケットブック
危険防災救急便覧
国際化学物質安全カード(ICSC)
原料MSDS
化学物質総合情報提供システム(CHRIP)

[注意]

危険・有害性の評価は現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成していますが、すべての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加、修正を行い改訂いたします。また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。すべての化学製品には未知の危険性・有害性がありうる為、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。

※各色の組成

	カーボン ブラック	酸化鉄	C.I.ピグメント イエロー-42	アンバー	酸化チタン	テレピン油	鉱油
ラスティックパイン	0.1-0.2	0	1-2	1-2	0	0.5-1	-0.1
ジャコビーン	0.1-0.5	0	2-5	2-5	0	0.1-0.2	0.1-0.2
チーク	-0.1	0	0	5-10	0	0.1-0.2	0.1-0.2
チューダーオーク	0.1-0.3	0	0	5-10	0	0.1-0.2	0.1-0.2
ウォルナット	0.5-1	1-2	0	2-5	0	0.1-0.3	0.1-0.2
ホワイト	0	0	0	0	5-10	0.1-0.2	0.1-0.2
ベージュグレー	-0.1	0	-0.5	-0.5	5-10	0.1-0.2	0.1-0.2
アンティークグレー	0.5-1	-0.5	0	1-2	1-2	0.1-0.2	0.1-0.2
チャコールグレー	0.1-0.3	0.1-0.2	0	0.5-1	1-5	0.1-0.2	0.1-0.2
スモークグレー	0.1-0.2	-0.1	0	-0.5	5-10	0.1-0.2	0.1-0.2